

ガンディー

2014 年追試

問 4 社会のなかでいかに他者とともに生きるかに関連して、知ることと社会的実践との関係についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① ムスリムは、ジハードを義務づけられている。ジハードとは、聖典を通して知られる神の意志に基づいて、神の定めた正義を世界に広めるよう奮闘することである。
- ② 王陽明は、朱子学を知性偏重であると批判して、知ることはいの始めであり、行いにより知ることが完成する、と説いた。この考え方は居敬窮理と呼ばれ、社会を導く知識人が実践すべきものとされる。
- ③ ガンディーは、自らの政治運動において「真理把持」を意味するサティヤーグラハの理念を掲げた。そこで重視されたのが、仏教やジャイナ教でも共通して説かれたアヒンサー(不殺生)の実践である。
- ④ プラトンは、『国家』において、知恵の徳をそなえた哲学者が、防衛者階級・生産者階級を治めることを理想の統治のあり方とした。この体制は哲人政治と呼ばれる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	14	②	3

2009 年追試

問 7 今日では現代社会の問題に対応するために、人間の尊厳を捉え直す新たな思潮が生まれている。それを代表するガンディーについて述べた記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 人は、人種に関わりなく、誰もが実質的に平等でなくてはならないとの考えから、社会で差別されていた黒人の解放を目指して、非暴力主義のもと、黒人差別撤廃運動を指導した。
- ② すべての命がもっている生きようとする意志に、人は愛と畏敬の念をもつべきであると考え、倫理の原理としての「生命への畏敬」という理念を抱きつつ、アフリカで医療事業に従事した。
- ③ 貧しい中でも最も貧しい人々にこそ尽くすべきであるとの思いから、カルカッタ(現コルカタ)などに「死を待つ人の家」や「孤児の家」を設けて、キリスト教の隣人愛の実践に生涯を捧げた。
- ④ 自らの欲望やそれに基づく行動を精神の力で制御するとともに、あらゆる命を傷つけたり殺したりすることなく、ともに平和を享受するべきであるとの立場から、非暴力・不服従の運動を指導した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 7	29	④	3

2003 年追試

問 4 ガンディーの非暴力主義に関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 暴力を振りかざす者に対して，一切の対抗暴力を用いることなく，黙って彼らに服従することによって，精神的な勝利を収めることができる。
- ② 非暴力運動は，核兵器をもたなかった時代のイギリスに対しては有効であったが，今後は核抑止力のもとでのアヒンサーを追求する必要がある。
- ③ 暴力を用いずに，しかし決して相手に屈伏することなく，非協力を貫き通すことによって，相手の良心に訴え相手を変えていかなければならない。
- ④ 非暴力という手段は，勇敢な者たちばかりでなく，臆病^{おくびょう}な者たちにも実行可能なので，抵抗活動を大衆運動として拡大していくために不可欠である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 4	33	③	3

2001 年本試

問 8 ガンディーはインドの伝統思想を現代的な視点から捉え直した。彼の考え方についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① 真理を把握し実現するための闘いにおいては、一切の生命を同胞と見なし、あらゆる暴力に反対するとともに、自分の生命を投げ出してでも他者に最大の利益を提供しなければならない。
- ② 労働者が生産手段を共有するという目標は、議会制民主主義を通じては実現不可能であり、それを実現するには、職業革命家が武装蜂起して国家を資本家階級から奪い取らなければならない。
- ③ 過去に目をつぶる者は、現在のことも正しく見ようとしない者である。非人道的な行為を心に刻もうとしない者は、将来再びそうした危険に陥りやすい。
- ④ 戦争は人間の人格を破壊し、自由を奪い去るものであるから、自由な諸国家の連合体を形成することによって永久的な平和を確立することが、人間の目指すべき理想である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 8	10	①	3